

研究機関名：仙台医療センター

<p>受付番号：</p>
<p>【研究課題名】 A病院の産後1ヶ月健診時のエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）と母乳率の関係性における実態調査</p>
<p>【研究期間】 西暦2019年4月（倫理委員会承認後）～西暦2020年3月（倫理委員会承認後）</p>
<p>【研究の対象】 対象：平成31年2月にA病院で出産した褥婦とその新生児（約100名） ・精神疾患合併でも完全母乳の褥婦 ・母児同室の正常新生児</p>
<p>【研究の目的・方法】 A病院における1ヶ月健診時のEPDSと母乳率との関係性を調査し、精神的サポートと母乳育児支援における課題を明らかにする。</p>
<p>【研究に用いる試料・情報の種類】 カルテより以下の情報を収集し研究に用いる。 ①褥婦の情報 対象者の背景（出産歴、出産時の年齢、分娩様式、精神疾患既往歴の有無と内服の有無、サポートの有無、MC・PC受講の有無、会陰裂傷の有無、乳頭亀裂の有無）、入院中と1ヶ月健診時のEPDS点数、入院中と1ヶ月健診時の赤ちゃんへの気持ち質問票（入院中のEPDSと赤ちゃんへの気持ち質問票は、自然分娩は産褥3日目、帝王切開は産褥5日目に聴取することとなっているため、そのデータを使用する） ②新生児の情報：児の出生体重と退院時の体重、退院時と1ヶ月健診時の栄養方法</p> <p>引用・参考文献 1) 関沢明彦：日本産婦人科医会 11.妊産婦メンタルヘルスケアの重要性について：7 May 2019 2) NPO 法人 日本ラクテーション・コンサルト協会編母乳育児支援スタンダード 医学書院 2013 p81-82 3) 佐藤文,板垣由紀子,後藤道子,他：産後うつ状態と母子相互作用についての縦断的研究(その1)一、マタニティーズと産後うつの状態の頻度と背景因子とその検討一、母子衛生 2013;44:51-56 4) 木下勝之編：妊産婦メンタルヘルスケアマニュアル：産婦人科医会 2017 5) 遠藤恵子,西脇美香,山川祐美子他：産褥早期における産後うつ病発症の予測因子,山形保健医療研究 2018;11:2008</p>
<p>【試料・情報を利用する者の範囲】 研究責任者 母子医療センター 助産師 佐々木史恵</p>

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

仙台医療センター 産科 佐々木史恵 (代表研究者)

〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野2丁目11番12号

TEL:022-293-1111

FAX:022-291-8114